

輸出事業計画

※申請者名：片上醤油、品目：醤油

1. 輸出における現状と課題

【現状】

昭和6年の創業より木桶仕込み醤油を製造、販売している。地域の過疎化、人口減少に対応して全国に商圈を広げるため、奈良県在来種大豆である「大和大鉄砲大豆」をはじめ、奈良県産大豆に特化し、その安定調達のために県内営農組合と直接取引するなど、地域農業との協働を進めている。こうした取り組みに対し、全国から蔵見学に来る訪問者が増加し、知名度が徐々に上がってきている。輸出に関しては、細々とではあるが2021年から取り組んでいる。現在、国内商社を通じてオーストラリアの小売店に販売を行っている。

【課題】

- ① 現在までは安定的に県内産原料の調達はできているが、当社の製造能力に余力がなく、大量の注文には対応できない。
- ② 輸出商談会や展示会の参加から輸出機会を捉えるべきであるが、零細企業ではなかなか単独での国内外の展示会や商談会の参加が困難である。
- ③ ターゲットの国の情報取得について、自社のみで海外の消費動向や飲食店、小売店等に関する情報が得られにくい。

2. 輸出事業計画の取組内容

弊社醤油の輸出に際し、前提として必須となるイメージは「クラフト」「プレミアム」「レア」と考える。そのブランドイメージ、知名度をさらに高めるため、木桶職人復活プロジェクト、木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアムに参加し、活動している。コンソーシアムHPにおいて、弊社の紹介ページの製作、弊社の紹介動画をYouTubeで公開、木桶仕込み醤油の商品ラベルにコンソーシアム共通のQRコードを添付し、本コードのリンク先でユーザーが商品の背景やストーリーを学び、自身のSNSで情報の拡散ができる仕組みを構築するなど、ユーザー起点の「木桶仕込み醤油＝プレミアム醤油」の浸透を図る。

海外における日本食レストランの増加から、店舗間で競争が激しくなり、差別化のために、日本産の食材と共に、伝統的な製法の淡口醤油が求められることが予測され、その際、「クラフト」「プレミアム」「レア」の条件を備えた弊社の製品が選ばれるよう、取り組みを進めたい。

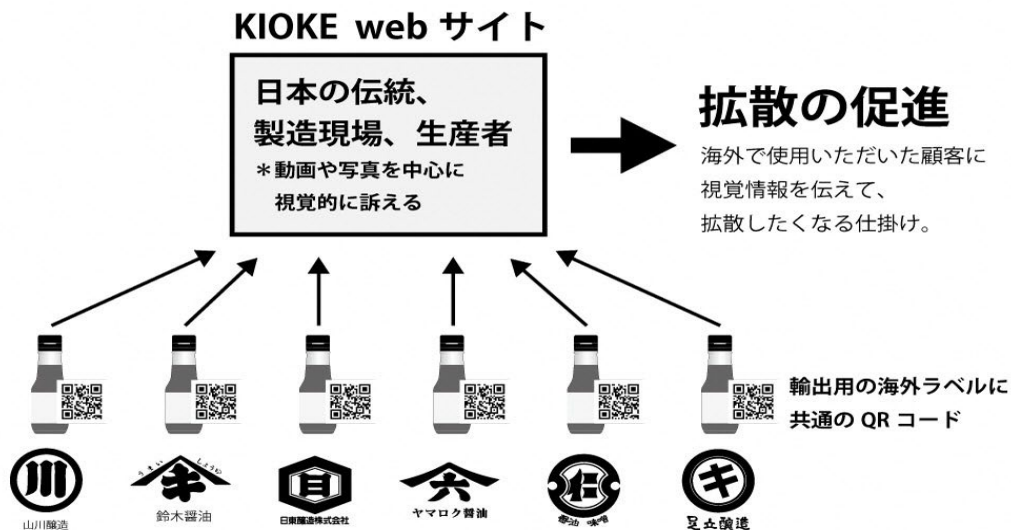
- ① 中長期に安定的な生産余力の確保のため、無理のない範囲で醸造蔵の増設、木桶の新造と調達を進めていく。
- ② 展示会、商談会への積極的な参加及びターゲットの国の情報取得しバイヤーを開拓する。単独では難しい海外での展示会や商談会への参加は、木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアムと連携し積極的に行う。コンソーシアム参加事業者（醤油メーカー、商社）と連携した輸出連携（共同輸出や国内商社への紹介等）を行う。
- ③ 農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）やJETROと連携して海外の消費動向や情報を入手する。

輸出事業計画

※申請者名：片上醤油、品目：醤油

木桶仕込み醤油の魅力を伝えるWEBサイト（多言語化）

輸出用の海外ラベルにQRコードを付けることで、海外ユーザーを起点にSNSで情報を拡散をする。（木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアム）



3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

全国醤油工業協同組合連
合会からの補助、助言、指
導

GFPからの情報提供

片上醤油

JETRO奈良からの支援、情報提
供

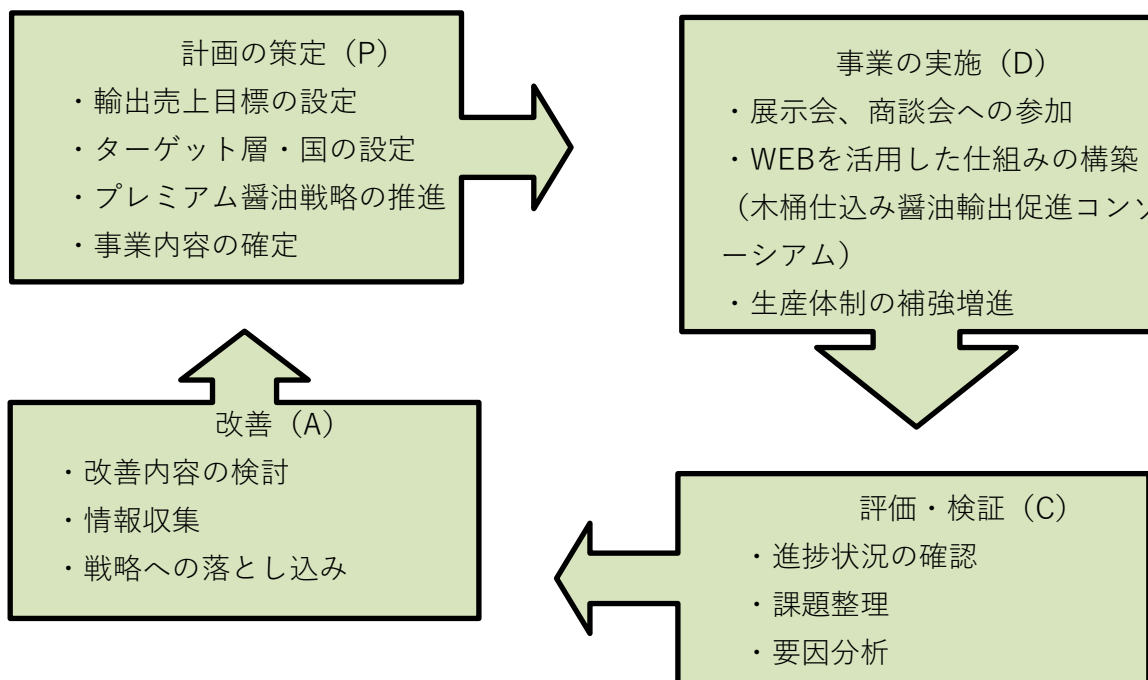
木桶仕込み醤油輸出促進コ
ンソーシアム
メーカー約20社

奈良県からの支援
、情報提供

事業の実施ごとに木桶仕込み醤油輸出促進コ
ンソーシアムメンバーにて事業内容を評価・検
証し、より費用対効果の高い事業として、メンバ
ー企業の輸出売上増加を目指す

輸出事業計画

※申請者名：片上醤油、品目：醤油



4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

		現状 (2024年度 (2024年1=12月))	目標年 (2030年度(2030年1=12月))	備考
奈良県御所市	輸出額(千円)	144	1,000	
	輸出量 (kg)	140	1,000	
	輸出先国	オーストラリア他	E U、英連邦王国 (オーストラリア他) 、香港、シンガポール 等	
	生産量/取扱量 (kg)	44,000	47,000	